

## 生徒指導にかかわる取組

(魚沼)

### 1 魚沼市内の小学校で今年度取り組んだ内容 ※「小教研としての取組」は無し

#### (1) 特徴的な取組内容

- ① 児童理解の時間確保 (M小学校)
  - ・火と木曜は清掃なしの昼休みとし、子どもと職員がふれ合う時間を確保
- ② 「いじめゼロ集会」をメインとした取組 (N小学校)
  - ・縦割り班での全校遠足＋児童会の「いじめゼロ集会」＋「人権学習の授業公開」
- ③ 月1回のソーシャルスキル教育 (R小学校)
  - ・生活朝会(職員の寸劇によるモデリング)＋SSEの公開授業＋全学級SSE＋放課後の協議会＋「温かいメッセージの木」
- ④ 児童会・学級が中心になって行う「やさしさの輪を広げよう運動」(K小学校)
  - ・委員会の特性を生かした取組(給食「交流給食」、生活広報「あいさつキャンペーン」など)
  - 各学年・学級の創意を生かした取組(「さん」づけ強化キャンペーン、肩もみキャンペーンなど)
- ⑤ 縦割り班単位で遊ぶ「若あゆグループデー」(H小学校)
  - ・月1回、縦割り班単位で遊ぶ日を設け、6年生がリーダーになって内容を決めて遊ぶ。
- ⑥ 「温かいメッセージ」(I小学校 他多数)
  - ・11～12月に、各学級で話し合い(温かいメッセージ・冷たいメッセージについて)を行い、廊下の掲示版に貼る。モデリングやロールプレイを交えたSSTを行う。
- ⑦ 「小中いじめ根絶スクラム集会」(U小・H小・H中の合同で)
  - ・6月と2月の2回、二つの小学校5・6年生全員が中学に集まり、「あいさつ運動」などの取組を互いに発表したり、ふれあいゲームなどをしたりする。

#### (2) いくつかの取組における成果と課題

##### 【ソーシャルスキル教育】

成果… 教師のモデリングを通して、自己の言動を振り返り、よりよい行動をしようとする意欲が増した。また、全校で行うことで、学年・学級差がなくなったこと

課題… 日々の学習での一般化とその継続

##### 【やさしさの輪を広げよう運動】

成果… 実施前の児童朝会で各委員長がPR活動をし、全校の意識が高まったこと。児童会祭りをリンクさせたことで、反省や総括を行うことができたこと

課題… イベントが終わると意識が停滞するので、無理なく息の長い活動にすること

##### 【いじめゼロ集会】

成果… 豪雨にたたられながらも往復10kmの遠足を通して、高学年ではリーダー、低学年ではフォロワーの意識が高まり、どの班でも助け合いが見られたこと。6年間で通算90時間行う「人権学習の時間」を通して、「差別をしない、させない、許さない」意識が高まりつつあること

課題… 登下校での異年齢間、休み時間での同級生間での人間関係づくり

##### 【温かいメッセージ】

成果… 「私がけがをした時に、『大丈夫?』と聞いてくれてありがとう」など、ちょっとした意識付けで多くの子どもが温かい言葉掛けができたこと

課題… 無意識に送ってしまう「冷たいメッセージ」を防ぐための活動の充実